

中芸高だま

平成29年度
第3号



文化祭 ～百花繚乱～

十月二十七日、二十八日の二日間、「百花繚乱」をテーマに、中芸高校文化祭が行われました。二日間とも、午前は全校製作のモザイクアートが大きく飾られた体育館でステージ発表、午後からは各ホールによる模擬店という流れで今年は大いに盛り上がりました。ステージ発表では、中芸よさこいから始まり、ダンスや歌などの発表で、昼間部、夜間部、田野分校の児童生徒と教員が一つになり、学校全体が笑いと感じに包まれました。講師の藤井俊治先生（成安造形大学）をお招きした紙コップワークショップでは、紙コップを使って造形物をつくる共同作業の中で、力を合わせて知恵を出し合い、完成させるという、なかなか体験できない活動を行いました。楽しみながらも生徒たちにとって良い勉強になったと思います。模擬店では、1Hのフライドポテト、2Hのフランクフルト、3年生の焼き鳥と綿菓子、PTAのバザーとお寿司、教員の豚汁と炊き込みご飯とどれも人気で、地域の方からも美味しいという声をいただき、あつという間に完売しました。二日目は雨の予報ながらも、小雨となり、たくさんの方の方に来ていただくことができました。



オリンピック・パラリンピック講演

講師 池 透暢 氏

十一月九日に、リオパラリンピック、ウィルチェアラグビー日本代表のキャプテンとしてご活躍された池透暢氏をお招きし、講演会が開かれました。事故がきっかけで体が思うように動かなくなり一度は生きることを諦めようとしたほどの苦悩の日々を乗り越え、自分の道を切り拓いた池さんのお話を生徒たちは真剣なまなざしで聞いていました。講演の後には、実際に体験して、足を使わないことの難しさを実感しました。その後は生徒たちから池さんへ多くの質問が飛び交い、努力することの大切さなど、貴重なお話を聞くことができました。



避難訓練・防災講演

講師 森 大樹 氏

十一月二十四日に、巨大地震を想定した避難訓練を行いました。落ち着いて迅速な行動をとって避難する中で、自他の生命をしっかりと守ることができるようになることを目的とし、田野分校と合同で訓練を行いました。訓練の後は、開かれた学校づくり推進委員の森大樹氏奈半利町をお招きして、災害の後、高校生として何ができるのかをテーマに講演会を行いました。大地震と津波の恐ろしさを改めて考え、命を守ること、そして、災害後に地域の人たちを元気づけるためにできることなどを考えました。

校内マラソン大会

男子

土佐打刃物の伝統を伝えるためにサラリーマンから轉身された秋友さんのお話の中で、「人生には誤りはあるけれども失敗はない。前に進めなくても早く動き出すように心がける。」という言葉がありました。物事や仕事をあきらめずにするのが将来大事になってくるという生徒からの感想もあり、とても良いお話が聞けました。

進路講演会

講師 秋友 祥造 氏

後期生徒会

- 生徒会長 山中
- 副会長 岡田
- 書記 仁井田
- 会計 松田美
- ボランティア担当 西岡

女子	男子
1位 二年・高橋	1位 二年・川田
2位 二年・松田	2位 二年・岡田
3位 三年・藤澤	3位 三年・島崎
4位 二年・山中	4位 二年・島岡
5位 二年・柴田	5位 一年・河田
6位 三年・植田	6位 一年・浜田
7位 三年・中澤	7位 一年・五味
8位 三年・坂本	8位 三年・近藤

